

保育園の自己評価

保育園での自己評価を踏まえ、理念や目標について共通理解を深め、職員の資質向上、職員全体の専門性の向上を図り、保育内容の充実それを振り返って保育に活かし豊かな保育に発展していくため、活用することを目的としています。

令和5年度 自己評価の結果集計

回答 項目	理想的な状態	通常より取り組み、行われている状態	頑張らないといけない状態	改善を要する	回答率
子どもの最善の利益の考慮	6%	75%	19%	0%	100%
保育環境	34%	60%	6%	0%	100%
発達の援助 及び 連続性	7%	64%	29%	0%	88%
養護と教育	23%	73%	4%	0%	100%
保育内容	12%	64%	24%	0%	100%
育児支援	20%	66%	14%	0%	88%
地域支援	10%	21%	62%	7%	88%
安全管理 健康管理	25%	61%	14%	0%	100%
社会的責任	63%	31%	6%	0%	100%



令和5年度 東江保育園 自己評価 まとめ

一年の振り返り

- 保育をしながらの指導計画や個人記録等の書類の作成を計画的に行う事が出来なかった。次年度は計画的に行っていきたい。
- 不審者対策訓練を行う事ができた。まだまだ不安だが対応の仕方を知り訓練ができてよかった。
- 保育について（子どもの対応、共通理解、申し送り）を十分にする必要があった。
- 離乳食、アレルギー食について常に給食担当との連携をとるように努めた。
- 運動会、おゆうぎ会は日頃の保育を通して子ども達の好きな遊びの中から発表できてよかった。
- 食育、アレルギーのキャリアアップ研修を受けることができよかった。次の保育にいかせたらと思う。
- 室内遊びの環境を整えることによって、自分たちで好きな遊びを選択し集中して遊ぶ姿が良く見られた。
- 担任同士、保育観を一致できるように日々の保育の中で話し合いがうまくできた。
- 忙しいときとゆとりのある時の差があり、子どもの対応にも影響してしまった。
- 地域の方とのかかわりがあまりできなかった。
- 生活の流れを教えるだけで 2～3 か月かかりクラスとして成り立つまでがとても大変だった。担任 2 人（3 才児クラス 26 名）でこの人数も少し気になる。年々配慮が必要な子が増えつつある気がする。
- 運動遊びやリズム遊びを取り入れることで身体の使い方を知るきっかけになれたのは良かったが、散歩に出かける機会が少なかったため歩く力があまりついていないと感じた。
- 行事前など人手不足で職員に負担をかけないよう先回りして準備をしたことが逆に育成の妨げになっていないか反省した。
- 職員間での情報交換など、もう少しコミュニケーションをとる時間があってもいいように感じた。行事への無理のない取り組み方など工夫が必要。
- 水、泡、色水など感覚を刺激する遊びがたくさんできてよかった。
- 製作などあまり取り組めなかったので次年度は計画を立てて取り組んでいきたい。
- 個性的な子が多くて環境を変えながら、声掛けを変えながら過ごした。この一年は自分は優しい気持ちをもっていけたと振り返って気づいている。少しずつ子どもの気持ちに寄り添えるようにしていく。

- ・運動会やおゆうぎ会などの行事は人手不足が重なり練習の時から準備や片付けが予想以上に大変であったが、その中でも職員間で協力し合いながら無事に行う事ができてよかった。
- ・発達に合った遊びや保育環境をもう少し工夫して取り入れてあげるべきだった。
- ・担任同士での話し合いが足りていないこともあったので担任同士での連携もしっかり行っていきたい。
- ・一人ひとりに合った声掛け、保育がまだまだ十分でないこともあったがクラス間で話し合い共通理解を十分にすることはできた。
- ・保護者対応で伝わらず、どう伝えていいかもわからない場面があった。
- ・子どもの状況に応じて実践を心がけるような計画をクラス担任で話し合っている事ができた。
- ・個々の対応がなかなかうまくいかない場合は保護者の協力を求めるがかみ合わないケースがあった。
- ・もう少し余裕をもって子ども達と関りがもてるようにしていきたい。担任間などでの連絡、保護者との連絡等がうまく連携が取れていないこともあったので確実に共有できるよう気を付けたい。
- ・クラス担任間で保育計画や個々の状況などはよく話し合えたので良かった。
- ・慣れない保育士からの関りでも不安にならないように、日頃から子どもの目を見て笑顔で話しかけることを意識した。最初は人見知りして泣く子もいたがスムーズに保育することができた。
- ・保育者は子どもの様子（咳、鼻水、機嫌が悪い、）で体調不良とを感じるが保護者は体温で判断するのでうまく伝わらないことが多かった。
- ・担任複数で話し合うことはできたが全員で話し合う時間が少なく共通理解ができないこともあった。
- ・運動、遊び、言葉、友達との関りや生活面など毎月個人の記録を記入してきても記録に追われ、振り返りのあとに子ども達一人ひとりの発達に応じた保育が十分に活かすことができなかったことが大きな反省。毎月専門書を購入しても目を通す時間も取れず毎年反省している。保育士が不足しているときは周りのサポートで子ども達は安心して過ごせた。
- ・パートという立場で常勤の職員が動きやすいようにサポートし準備や片付け、掃除をするように心がけた。なるべく子ども達の側にいて毎日安心して過ごせるようにした。子ども達一人ひとりの健やかな成長を促せるような関り見守りが必要だったかと思う。

園の評価・課題

- ・紙ベースでの書類が多く、手書きや計算に関してはPCの方が間違いも少なくなるので、出席簿など計算が必要なものはPCで自動計算ができるものを採用してほしい。
- ・園の歴史は長く地域とのつながりも強い。保育士同士仲が良く何でも話し合える。協力し合い助け合って働いていると思う。子育て中の職員も動きやすい。園児の数に対して園庭

が狭い。

- ・子ども達の健康、安全、感染症など必要な対応を職員間で連携が取れたことは良かったと思う。
- ・栽培などを通して子ども達の食に対する知識が高まるよう園長のアドバイスや食事での激励などがあると子ども達は喜ぶと思う。
- ・不審者対策訓練を行う事ができてよかった。
- ・卒園児へのコサージュづくりを職員みんなでできてよかった。
- ・毎年様々な状況があるが皆で協力しながら頑張っている。働き方の変更がある場合は事前に相談があると助かる。
- ・災害訓練や不審者対策など日頃から取り組めており、予告なしの災害訓練でも職員同士連携をとりながら避難できてよかった。
- ・職員間で協力しながら他クラスとの連携もとってよかった。
- ・行事の負担は軽減されつつもクラスの計画や個人記録その他で時間に追われていた。
- ・名護警察署の協力のもと初めて実践的な不審者対応訓練を行った。全職員が緊張感をもって訓練に参加していた。園の構造的に侵入しにくいという良い点も教えてもらい安心した。
- ・3,4,5才児クラスは散歩に行く際保育士が複数必要になるため、十分な保育士の配置が必要である。
- ・運動会やおゆうぎ会は人数の制限なく行い、子ども達の成長の喜びをより多くの方と共有できてよかった。
- ・保育士の要望等は受けとめてもらい働きやすさを重視した様々な決定をしてもらっているが、産休代替職員など保育士が確保できない不安や人手不足による保育士の負担過多がある。負担軽減と安全面の考慮、保育の質のバランスを取りながら保育内容の変更、改善をしていく必要がある。
- ・保育士不足で急な休みを取ってしまった時に他の職員に負担がきているのではないかと、とても気になるので保育士の確保をお願いしたい。
- ・各行事や準備がスムーズに行われるようになり保育士一人ひとりが頑張っている姿が見られとても良い園だと思う。
- ・調理担当職員との交流があると良いと思う。
- ・保育士が少ない中、皆で協力して助け合いながら保育することができたと思う。
- ・シフト調整が難しい中、たくさんの保育士がキャリアアップ研修やその他研修（オンライン、対面）を受けることができてうれしい。
- ・園内研修でリトミックや体操、フォークダンスなど実践的な内容を皆で行う事共通理解につながり良かった。
- ・職員間の連携は取れていてとても良いチームだが、慣例の保育ではなく保育士一人ひとりの力を発揮して子ども達と楽しみたい・挑戦したいことをどんどん実践できる環境作りや組織作りが必要。